

インターネット × リアル

9. インターネット × ルール

親子で話そう、ケータイルール（出典：電気通信事業社協会）



危険なサイトにアクセスしないよう、フィルタリングサービスを利用する。

決められた金額以上は使わない。

ケータイを使ってよい時間と場所を決める。

食事中や入浴中はケータイを使わない

電車やバスの中など、多くの人が集まる場所ではマナーモードにするか、電源を切る

写真をとる時は、相手に写真をとってもよいか聞いてからとる

インターネット掲示板やメールで他人を傷つけるようなことをかきこまない

他の人が作った絵や音楽をかってにインターネット上に公開しない

違法なサイトから音楽や映像をダウンロードをしない

お店で売っている本や雑誌を写真にとらない

歩いているときや自転車に乗っているときはケータイを使わない

インターネット上に、自分や友達の名前、住所、顔写真などを公開しない

チェーンメールや知らない人からのメールは無視する

不安なことや心配なことはすぐに保護者に相談する

印刷してそのまま利用できる PDF は電気通信事業社協会のホームページ、

[http://www.tca.or.jp/mobile/img_1/20120203_親子で話そう、ケータイルール・守ろうマナー.pdf]

からダウンロードできます。



お子様を有害情報から守るために（出典：内閣府）

お子様と一緒にルールを作りましょう

ルールを一方向的に押し付けるのではなく、インターネットを使う目的をはっきりさせ、なぜルールが必要なのかを、お子様が理解することが大切です。

お子様が使おうとしているサービスを一緒に見てみましょう

一緒に見ることで、懸念されるリスクに着いて、チェックすることができます。

お子様の利用状況を確認するルールを作りましょう

お子様の利用履歴を勝手にチェックするのではなく、折にふれお子様と一緒に確認し、問題が無いか話し合しましょう。

ルールを守れなかったときのルールを作りましょう

一時利用禁止など事前に決めておくことで、ルールを守る責任感が生まれます。

トラブルのときはすぐに保護者に相談するように話しておきましょう

トラブルのときに慌てないように、事前に対応方法や相談窓口を確認しておきましょう。

ご家庭のルールの具体例

- 困ったときはすぐに相談する
- 利用する時間帯を決める
- 利用する場所を決める
- 暗証番号は親が管理する
- サイトに登録する場合は事前に相談する
- お金がかかる場合は事前に相談する
- 名前、顔写真、学校名などは書き込まない
- 知らない人のメールに返信しない
- 月に一度、利用状況を保護者と確認する
- ルールを破ったら、一時利用禁止とする

出典元の PDF は内閣府ホームページ、

[<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/koho/index.html>]

からダウンロードできます。